令和８年度

ジュニアリーダー通信

第９号
令和８年 11 月 14 日

2026 ぎふ探求ネットワーク事業「チャレンジ研修」が開催されました

岐阜市少年自然の家に集ったジュニアリーダーたちが、
シニアリーダーと共に「新しい自分にチャレンジ」する。それが「チャレ研」！

シニアリーダーとー緒に
チャレンジしよう！



岐阜市シニアリーダークラブのキャラクター「ハリネズミ」です。よろしく！

シニアリーダーのサポートのもと、ジュニアリーダーとしてのスキルアップをめざす研修です。１泊２日の日程で、岐阜市５つのブロックのジュニアリーダーたちが、岐阜市少年自然の家に集いました。

普段の定例会では経験できない研修です。今年度のスローガンは「**Step by Step**」。体験を通して力を付けることをねらいとして、２９名が参加しました。

10 月 10 日（土）

開会式

アイスブレイク

「オリエンテーション」
～他己紹介チャレンジ～

研修室に集合したジュニアリーダーたち。初めての参加で少々緊張気味のジュニアリーダーも、顔なじみのメンバーと会話が弾むジュニアリーダーも、それぞれがワクワク・ドキドキしながら、２日間のチャレンジが始まりました。

オリエンテーション後は、アイスブレイクです。「〇〇が好きな△ブロックの□□の隣の・・・」とつなげていく「他己紹介」は、順番が遅い人ほど記憶力が問われます。でも、さすが優しいジュニアリーダーたちです。ヒントをさりげなく出してフォローし合っていました。班の仲間の名前を覚えるには、最適のアイスブレイクのゲームとなりました。





活動 A

「リーダー研修」

「サポートリクエストなどに依頼をいただく育成者さんは、何を求めて依頼をしてくださるのだろうか。」ということから考え始めました。相手の気持ちという見えない部分を想像するのですから、正解はありません。

また、そうした依頼者さんにとって、私たちのジュニアリーダーという存在がどのような支えとなっているのかということも考えました。

そのうえで、依頼者さんと自分の成長とが互いに win-win になるよう、自分の目標や成長ルートについても考えました。スローガンにあるように、「一歩ずつ」成長する過程を実感できる活動をみんなで目指していければと思います。



昼食

じっくり頭を使った後は、外の芝生で昼食タイムです。輪になってワイワイ楽しくお弁当を食べました。食事後のごみの分別回収も完璧でした。



活動Ｂ

「室内ウォークラリー」
～６つのミッションにチャレンジ～

１　ジェスチャーチャレンジ
２　玉運びリレーチャレンジ
３　輪になって棒を倒すなチャレンジ
４　ストップウォッチチャレンジ
５　写真チャレンジ
６　ニチレクボールチャレンジ







体育館に準備された６つのミッションをグループの仲間と挑戦するウォークラリーです。頭を使うものあり、体を使うものあり、仲間とのチームワークが必要なものあり、グループで協力しながらミッションをめぐりました。

ニチレクボールは、ボッチャによく似た軽スポーツです。こうした軽スポーツは、これからの依頼先でもよく目にすると思います。ルールを知って体験していると安心して説明できますね。

一番笑えたのは、ジェスチャーチャレンジでした。ジュニアリーダーのなかには、なかなか芸達者な人がいることを最発見しました。

活動Ｃ

これが、私たちのブロックの十八番です。

「レクリエーション研修」
～各ブロックの十八番にチャレンジ～

２ブロック　握手キラー
４ブロック　スパイダー
５ブロック　ハンカチのない
　　ハンカチ落とし
３ブロック　結婚してください
１ブロック　ねことねずみ







これまでの定例会で決めた各ブロックの十八番レクを披露しました。どのブロックも、事前に練習をしてきました。練習の成果で、ゲームマスターとしてみんなの前で分かりやすく話したり、ブロックで協力して説明を工夫したりできました。

シニアリーダーは、「パネルめくり」と「ダンボールフリスビー」を準備してくれました。シニアリーダーの皆さんが、時間を見つけてはこつこつ準備してくれたゲームです。

夜の活動まで全力で楽しみ、どんどん仲が深まってきた１日目でした。

就寝

朝食

活動Ｄ

「バルーン＆クラフト研修」

～創作活動にチャレンジ～

【バルーン】
Ａコース「馬」「二枚花」「熊」
Ｂコース「犬」「剣」「ハート」「とぶネズミ」

Ａコースは、新しいバルーンアートに挑戦しました。複雑な形は工程も増えます。経験者が多いコースのため、手順通りというだけでなく、とても形よく仕上げることができていました。

Ｂコースは、犬や剣といった依頼先でよく求められる「定番」です。「定番」だからこそ手際よく作ることができるように練習しました。

【クラフト】
Ａ「テンセグリティ」
Ｂ「ミサンガ」
Ｃ「紙コップスロット」

紙コップ、輪ゴム、ストローなどの身近な材料を使い、子ども会でも指導できそうなクラフトが用意されていました。

子ども会でもクラフトの出番は多いですが、そのよさは、家に持ち帰って遊んだり続きを作ったりできるところです。ミサンガは、家で続きを作りたい子が続出でした。


「馬」に挑戦


これが自信作！


超集中「ミサンガ」

活動Ｆ

昼食

「野外炊事」

～協力してカレー作りにチャレンジ～

メニューは「ウインナーカレー」です。カレールウとご飯を薪で作ります。

活動前に、所員の方から説明を受けました。

野菜を切ったり、火を起こしたり、それぞれが自分から役割を見つけて手際よく調理が進みます。ウインナーの切り方にグループの独自性が出ていて、面白いなあと思いました。

所員の方の説明をしっかり聞いていたので、どのグループも絶品カレーライスができ、残さずおいしくいただきました。

さらに素晴らしかったのは、後片付けの姿です。

釜や鍋に付いた煤を「これでもか」というほどていねいにこすって洗い流します。こすって、洗って、太陽の光にかざしてくまなく確かめて・・・作る前よりピカピカになった鍋と釜が勢ぞろいしました。かまどの灰も残らず掃除され、最後までやり遂げる姿が、釜や鍋より光っていました。





閉会式



チャレンジ研修では、レクリエーションやバルーン、クラフトなどの技術だけでなく、人と人とのコミュニケーションや、自分から気付いて動くことなど、たくさんのことを学びました。

今回の活動を振り返り、自分の新たな課を見つけたり、お世話になったシニアリーダーの姿にあこがれをもったり、仲間のジュニアリーダーの姿から次の目標を抱いたり・・・それぞれの「チャレンジ」を再認識したのではないでしょうか。

この研修で学んだことを生かして、岐阜市のリーダー、各ブロックのリーダーとして、活躍していく姿を期待しています。

★ジュニアリーダーの皆さん、これからも仲間とともに、一歩ずつチャレンジしていきましょう。



★シニアリーダーの皆さん、素晴らしいプログラムの企画、寄り添ったご支援をありがとうございました。



